

【10月13日】

1Dが北中を代表して 授業を公開しました

5時間目に1年D組が国語の授業を公開し、市内の国語教師が参観しました。この日の午後は1年D組だけが残り、それ以外の生徒は下校。彼らは瑞浪北中を代表して授業を発信しました。

教材は「星の花が降るころに」。過去の友人関係にしがみつこうとしていた女子中学生の主人公が、周りの人たちの後押しで、勇気を出して新しい一歩を踏み出す決心をするというストーリー



です。

1年D組は、最後の場面の「新しい一歩を踏み出す決心をする主人公」を見つける、話のクライマックスの読み取りに挑戦しました。

「言葉の意味や効果にこだわった発言ができており、生徒たちは確実に力を付けていますね。」

「他の場面の内容やこれまでに学習したことを結び付けて考えようとしていたこと

が素晴らしい。」

参観者全員から、発言の質の高さや、学ぼうとする積極的な姿勢をたくさん褒めていただきました。

中学に入学してから約半年。確実に力を付け、彼らはすっかり中学生らしくなりました。これからの成長が楽しみです！



